

私が障害福祉サービス事業で働くようになった訳

障害福祉サービス事業所で働く前

私が福祉の仕事を選んだ理由は、自分がまだ経験していない環境で、人の役に立つ仕事がしたかったからです。大地には転職という形で入社し、新卒で入った会社も、卒業した大学も福祉関係ではなかったため、専門的な知識が無いまま携わることになりました。全く知らない世界なので

不安に思うこともありましたが、それよりも新しく学ぶことに期待し、初勤務の前日は、ドキドキであまり寝られなかったのを覚えています。元々、パート職員として入社し、2023年4月からは正職員として勤めています。まだまだ未熟者ではありますが、ご利用者の皆さんの生活がより楽しくなるように努めてまいりますので、よろしくお願いいたします！



働き始めると

働き始めの頃は不安でいっぱいでした。ですが、支援をしていく中で、ご利用者さんが笑顔を向けてくれることもあれば、「ありがとう」と優しい言葉をかけられることもありました。それだけでまた頑張ろうという気持ちになり、仕事に対するモチベーションも上がっていきました。時に悩むこともありましたが、先輩のアドバイスに助けられ、少しずつですが成長しています。



これからの私

まだまだ覚えることが沢山あります。専門知識を増やしていき、ご利用者の皆さんの生活がより豊かになるように支援していきます。また、客観的に支援をすることを意識し、皆さんの安心と安全な環境づくりに貢献していきたいと思えます。そして、ご利用者の方々に寄り添い、大地に来ることを楽しみに思っていただけのように、精一杯努めてまいります。

所属部署 上司からのひとこと

2022年11月に放課後等デイサービスにじいろに児童指導員として採用後、2023年4月から大地に正職員として異動された島野さんです。

島野さんは健翔会に入職する前は建設業界に就職しており、プラントの施工管理職として現場監督をしていました。しかし、“人と関わる仕事がしたい”という気持ちが島野さんを強く動かし、縁あって健翔会に就職してくれました。

にじいろでは児童指導員としてご利用児童の支援に携わり、子ども達からも慕われる、優しいお兄さんのような存在でした。大地へ異動後も、その実直な姿勢とご利用者と真摯に向き合う姿勢がとても素晴らしいです。

島野さんのストレンクス（強み・長所）は、建設業界時代の現場監督としてリーダーシップや指示・指導の難しさを経験していることです。これは大きな経験だったと思いますし、今後必ず自分の力になると思います。また、にじいろ児童指導員として、ご利用児童の支援をした経験も大きいです。資格は簿記、ビジネス文書、情報処理などを有していて、とても頼りになります。福祉の専門資格は強度行動障害支援者養成研修も修了しています。今後はキャリアを積んで介護福祉士にも挑戦していきたいと意気込みを話してくれています。

大地で3ヶ月間の新人職員研修では毎日記録・報告する業務日誌において、今日あった自分のミスや至らなかったこと等を素

直に振り返って反省し、次につなげていく分析をするなど、自分に厳しい姿がとても印象的でした。そのことから真面目で実直な性格で、仕事に対する向上心が伝わってきて、私のコメントも毎回熱を帯びてしまいました。（笑）

今後の島野さんに求めたいことは

①ご利用者の意思を尊重して寄り添う支援をすること。

常に自分の身に置き換えて、寄り添う支援をお願いします。

②障害への理解を深め、正しい知識を身につけて研鑽すること。

ご利用者の障害特性を理解し、身につけた知識を活かして下さい。

③福祉従事者として誇りを持つこと。

福祉の仕事のプロとして意識できるように成長して行って下さい。

これからもご利用者の介護・支援をよろしくお願いします。

大地サービス管理責任者 愛久澤 秀行

島野 唯（しまの ゆい） 平成11年生まれ

令和3年11月 社会福祉法人健翔会へ入職 放課後等デイサービス事業所 にじいろに配属される

令和4年4月 健翔会の運営する障害福祉サービス事業所大地に配属される

健翔会 大地 所在地：行田市小見1144-2 電話：048-555-6166